

暗所視 支援眼鏡を 給付対象に



いいじま 飯島 まもる 衛 議員

録画映像は
こちらをCHECK

ラウンドアバウトの交差点導入を

答 適切か検討したい

問 交通渋滞対策として、ラウンドアバウト（環状交差点）を大松の交差点に設置しては。

答 建設課長導入が適切か検討していく
きたい。

答 総務課長 世帯の収入状況に応じて、1割から3割の自己負担で、残りを公費負担している。



安中榛名駅のラウンドアバウト

議会の 一寸辯二つハア

議長 山畠 祐男



傍聴席入り口前に用意した
モニター式検温器

新型コロナウイルス感染拡大について
は、終息が見通せず、変異株の感染拡大など、いまだに厳しい状況にあります。
このコロナ禍で、議会も臨機応変に対応し、臨時議会を例年より多く開会して対策事業に関する議決を行っています。また、議会内の感染拡大防止対策として、モニター式検温器や委員会室などの飛沫^{ひまつ}防止パネルの導入、マスク着用・消毒・換気を徹底して行っています。

ワクチン接種については、これから順次始まりますが、速やかに実行できるよう、議会として全力で取り組みます。



かなや やすひろ
金谷 康弘 議員



録画映像は
こちらをCHECK

漆原総社線最終判断は

答 令和4年度以降、事業化の検討

問 前回質問の答弁で、都市計画道路漆原総社線の着手は、令和3年度の予算編成を進めるなかで最終判断とのことだったが、どのように判断したのか。

答 町長 町全体の主要事業計画上の位置づけ、国補助金の確保など、総合的かつ慎重に熟慮した結果、令和4年度以降の事業化に向け検討。

問 国補助金に国土強靱化計画が必要のこと。同路線の位置づけは。

答 建設課長 激甚化する災害対策で、

答 上武国道につながる、同バイパス東側、市都市計画道路半田南線の接続。市と協力し合い県に働きかけを。

答 建設課長 令和元年度に、2年ぶりに渋川・吉岡の地域連携協議会を開催。具体的協議を進めたい。

問 渋川市は都市計画道路の見直しを行い、吉岡バイパスの延伸先を新規構想路線と所は。

答 建設課長 渋川と吉岡を結ぶ重要な主要幹線、県央地域全体の発展に効果。同バイパスと半田南線の交差点から八木原駅周辺を通過し市道南部幹線まで。

問 上武国道につながる、同バイパス東側、市都市計画道路半田南線の接続。市と協力し合い県に働きかけを。

答 建設課長 令和元年度に、2年ぶりに渋川・吉岡の地域連携協議会を開催。具体的協議を進めたい。

問 前回質問の答弁で、都市計画道路

緊急輸送道路としての位置づけ。

問 3校にて端末利用の授業が開始、操作を覚える授業でなく、勉強を理解する道具との認識が重要と考

えるが。

答 教育長 パソコンの操作を覚えるのが、導入の目的ではない。使用の目的は、試行錯誤や自分の考えを友達と比較したり振り返ったりして、自己調

整力を育むこと。

問 コロナ禍・GIG Aスクールで教育委員会は人員不足では、これは全般的なことでは。

答 町長 今後予定の公共施設は、設計時に可能性を含め検討。既存施設はガスの

置き。

答 建設課長 当面は、県景観条例・県屋外広告物条例で対応。

問 避難所に災害対応LPGガスバルクを設置。既存施設はガスの置き。

答 建設課長 今後予定の公共施設は、設計時に可能性を含め検討。既存施設はガスの置き。

問 発展する吉岡、景観条例の制定を。

避難所に災害対応LPGガスバルクを設置。

問 発展する吉岡、景観条例の制定を。



ブラックアウト時に発電機を動かし、調理・給湯・冷暖房の機器のエネルギーとなる(災害対応LPGガスバルク)

ミニ解説

※HUG

避難所運営ゲームのこと。避難所のH、運営のU、ゲームのGの略。避難所運営を任せられたという想定の下で、次々にやってくる避難者の状況を考慮しながら、迅速かつ適切に対応する術を学ぶゲーム。



いいづか けんじ
飯塚 憲治 議員



録画映像は
こちらをCHECK

吉岡バイパス延伸、着手へのアプローチは

町の発展にかかる継続努力

間の4車線化を県に要望すべきでは。

都市計画道路大久保・上野田線、着工

建設課長 要望には、町都市計画の変更が必要。見直しは考えられるが、出店事業者は現在の3車線を希望。

町長 町の発展に欠かせない重要な道路、県当局に強く要望している。実現に向けて継続して努力する。

県道南新井前橋線の大松交差点西区

豪雨で護岸越水の危険が迫った駒寄川、護岸の整備計画は。

建設課長 GIGAスクール構想での、タブレット端末とICT環境機器類の準備は。

教育委員会事務局長 GIGAスクール構想での、タブレット端末とともに準備完了。



延伸が望まれる吉岡バイパス（バイパス北端の宮東交差点）

答 町長 早期事業化の要望を継続要請。県は住民の不安、地元の強い要望と認識し、予算措置を考慮中。

問 自治会からの危険箇所報告、内容に対する改善計画は。

答 総務課長 報告内容の分析中であり、活用できる部分を

答 教育委員会事務局長 各種研修やGIGAスクールサポートの支援活動により、端末活用スキル、

問 オンライン学習の実情、児童・生徒の習熟度はどうか。

答 建設課長 全体的排水改善策が必要と認識。国土強靭化計画に位置づけて、補助事業などを考慮して検討。

答 交通安全プログラムにおける、駒小通学路の危険解消の進展は。

答 建設課長 プログラム関係者で現地調査・協議したが、住宅が立ち並ぶ現況から、早急な対応は困難。路面表示などを検討し

る。今後も、端末を利

答 建設課長 鉄道会社との協議にて、当該箇所は対策済みと確認された。

答 建設課長 プログラム関係者で現地調査・協議したが、住宅が立ち並ぶ現況から、早急な対応は困難。路面表示などを検討し

る。今後も、端末を利

用しながら習熟度を高めていく方針。

問 実情、児童・生徒の発達段階や学年を求められる技能を理解度は十分か。



小池 春雄 議員

録画映像は
こちらをCHECK

コロナ禍での 独自施策は

答 臨時交付金 などの財源 を活用

問

地方自治法では、
地方公共団体は住
民の福祉の増進を図る
ことを基本とし、地域
における行政を自主的
かつ総合的に実施する
役割を広く担うものと
すると規定している。

コロナ禍の中で多くの
人たちが、先が見えず
不安を抱いている。行
政の責任が戦後これほ
ど求められている時代
は経験したことがない
と思う。議会でも要望
書を出しているが、先
進地事例ではそれぞれ
地域に合った施策を実
施している。厳しい財
政状況はどこでも変わ
りはない。町独自の助

成制度が求められてい
ると思うが。

答 町長 今後もコロ
ナウイルスを取り
巻く状況を的確に把握

時交付金などの財源を
活用し、町民のための
事業を実施して行く。

奨学金制度の創設と子育て支援を

答 協議検討課題としていきたい

し、情勢の変化を見極
め、追加措置された臨
時交付金などの財源を
活用し、町民のための
事業を実施して行く。

問 コロナ禍で高校
生・大学生にアル
バイトがなく、進学を
諦めたり中途退学をす
る人達が増えている。

考えていくたい。

奨学金制度を作るべき
だと思うが。また、子
育て支援策として以前
から求めていた、給食
費・保育料・バス通学
費の無料策は。

問 群馬県や渋川市な
どで※パートナー
シップ制度が導入され
ている。この制度は、
性同一性障害などの人
たちが町に申請し認め
られれば、町営住宅な
どの入居が可能である
ことなどが考えられる
が。

考えていくたい。

答 町長 奨学金制度

については教育委
員会と協議したい。給

答 町長 制度が婚姻
制度と異なり、法

律上の効果が生じない
ため、現在は宣誓した
人に提供できるサービ
スなどを検討してい
る。人権問題や、共生
社会をつくることにつ

いて積極的に臨んでい
きたい。



保育料の完全無償化が望まれる

※ぐんまパートナー
シップ宣誓制度
ミニ解説

「一方または双方が性的
マイノリティである2人
の者が互いの人生におい
て、互いに協力して継続
的に生活を共にするこ
とを約した」ことを宣誓し
パートナーシップの関係に
ある者同士がそろって宣
誓書を県に提出し、県とお
ける制度。公営住宅の申
し込みや医療機関での面
接会など、際の入居すが宣
誓できる。